

阿嘉大橋

離島に架けるプレキャストセグメントによるコンクリートアーチ橋



施主	沖縄県
施工場所	沖縄県座間味村
完成年	1998年
橋長	530m
形式	バランスドアーチ部を含む11径間連続PC橋
全幅	11.05m
アーチスパン	125m
製作方法	ショートラインマッチキャスト方式
架設方法	固定支保工架設
受賞	土木学会 田中賞 1998年
参考文献	橋梁と基礎 1999年 2月

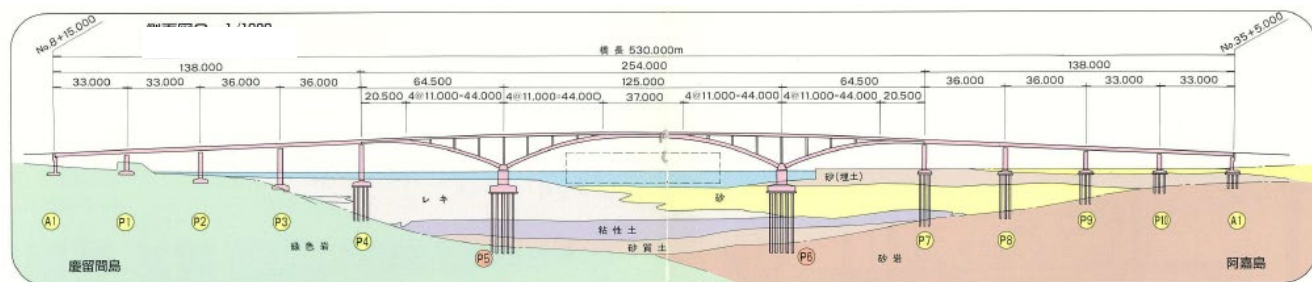
本橋は、離島架橋であるが、上部工のセグメントは品質確保の観点から沖縄本島で製作され阿嘉島まで輸送された。

セグメントは、アーチリブ・補剛桁・鉛直材を含め総数で347個であり、最大重量は57.3t である。

セグメントは、ショートラインマッチキャスト工法により製作された。

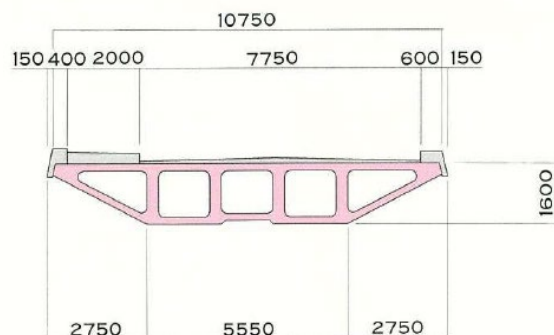
架設は、水深が浅いため接地式の支保工で行われ、バランスドアーチ橋の構造特性を利用し、P6系のアーチの施工後に支保工を移動しP5系のアーチが施工された。

側面図

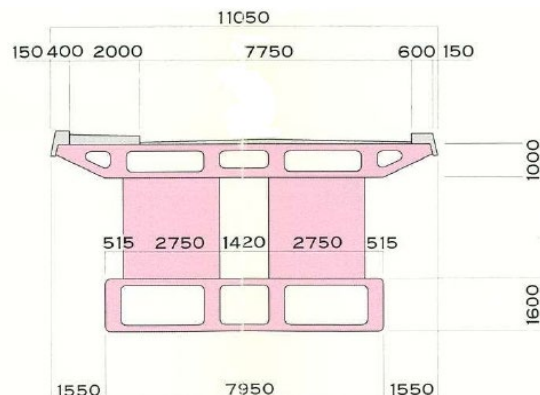


断面図

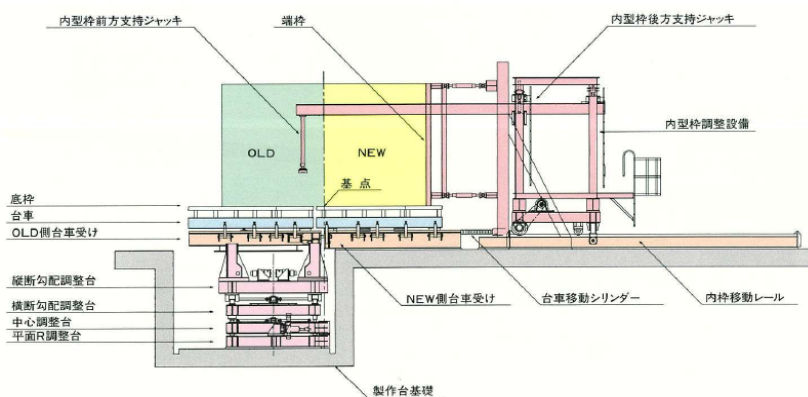
取付部



主橋部



製作設備



日本国内では、初期のショートラインマッチキャスト方式による製作であり、3次元的なセグメント形状に対応させるため、OLDセグメントの位置決め底枠の調整機能が複雑になっている。



支保工による架設(P5系)